


<p>講義タイトル</p>	<p>ビジネスモデルジェネレーション</p>
<p>講義概要</p>	<p>起業を目指す人間にとって、自分のアイデアをビジネスに仕立てる技術は、死活的に重要なスキルと言えます。しかし、このスキルは、単なるテクニックなのでしょうか。答えは「否」です。道具を使いこなすには、その道具を使う心構えから学ぶ必要があります。様々な切り口からアイデアを生み出し、正しい心構え（マインドセット）を持って、それをビジネスモデルに作り上げてゆく、このプロセスを3回のワークショップで体験して頂きます。このワークショップは、決して「教える」もの、「教わる」もの、ではなく、自分で「体得」してゆく場です。よく、大学の授業にありがちな「言葉の定義」から入る（私も通常の授業ではそうしていますが）のではなく、まずは動画や写真など、目から感覚を掴み、それをもとにチームで話し合い、意見を戦わすことで、感覚を具体的な形にして体に覚えこませてゆく、そんなアプローチをとりたいと思っています。丁度、子供の頃、何回も倒れながら、自転車を乗りこなす技術を体得していった様に。</p> <p><b>参考図書：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『20歳の時に知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義』 ティナ シーリグ （阪急コミュニケーションズ）</li> <li>2. 『もしドラえもんの「ひみつ道具」が実現したら タケコプターで読み解く経済入門』 藤野英一 （阪急コミュニケーションズ）</li> <li>3. 『ムーンショット 世界を変えるビジネスはこうつくる！』 ジョン・スカリー （パプラボ）</li> </ol>
<p>受講者へ一言</p>	<p>ワークショップの前に、自分で呪文をかけましょう。「このワークショップに参加すれば、絶対に最強のアントレプレナーになれる！」</p>

## 講師情報

講師氏名	深井 昌克	
講師氏名よみ	ふかい まさかつ	
所属・役職等	名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 国際産学連携・人材育成グループ 主任リサーチ・アドミニストレーター	
略歴等	<p>長いこと、日本の銀行とメーカーに勤めていました。海外勤務歴が長く、ロンドンに8年、シンガポールに10年滞在しておりました。その間、欧州、中近東、南アジア、東南アジア、中央アジア、等で、新たな子会社や、組織を作ったり、新たな商売を立ち上げたりしてきました。</p> <p>2013年10月に名古屋大学に来ましたが、ほぼ、会社務めの時と同じように、色々新しいことに手を染めています。「TONGALI」も、その一つです。要は、単なる「アタラシモノズキ」です。</p>	